

## Cグループ 歴史の発掘・保全活動

今回のワークショップは、後半に各グループの活動プランを発表するというプログラムでした。

そのため、江戸川区の歴史について着実に理解を深める一方、なかなか活動の種や芽が定まらない我がCグループでは、持ち寄った資料を吟味するいつものスタイルではなく、“歴史”という大きなテーマに対してどのように挑んでいけばよいかを検討しました。



### 【はじめに】

意見交換に先立ち、前回（7月31日）以降に活動の種となるような“歴史”が見つかったか／歴史の発掘に主眼を置くのと、発掘したものを使って何らかの活動を行うのと、どちらの活動が良いと思うか／幅広い“歴史”の中でいつ頃に興味があるのか という3点について全員の思いを確認しました。

多くの方が共有していたのは、以下のような事項でした。

- 興味があるのは、江戸川区の歴史が始まったといえる江戸時代から。
- 調べてみるようになっていた行徳道については、現存する歴史資源があまり見つからなかった。
- もう少し歴史を調べてみたい……けれど既に色々と調べられてしまっている。

### 【活動プランの方向性の検討】

「既に色々と調べられてしまっている」という認識を出発点に、資料はあるけれどあまり知られていない多くの歴史資源を守るために、どんなことをしていけば良いかを考えました。

- 資料や一覧はあるけれど、そのままでは見づらいし、誰も知らないままである。
- 暗渠となった川を掘り起こす／これから埋められてしまうかも知れないものを守る活動がしたい。
- 新たに調べ始めた「河原道」があまり知られていないし魅力的である。

「知らない」を「知っている」「守る」につなげるために…

- 案内を立てる。 / 道路に歩行者を誘導するような線（矢印）を引く。
- 地図をつくる。 / それを学校の子供に紹介してまちあるきなどを実施する。
- 寸劇や昔語り会などを通じてPRする。
- 昔の地図や写真などを使うと迫力があって良い。
- 「現地」に案内を立てる。 / 現地で展示会を実施する。

### 【というわけで・・・次回9/19（日）13:00～「河原道を歩こう！」】

- ★ 次の会合では、今後区画整理などで失われてしまうかも知れない「河原道」を守り、この魅力を伝えていくために、どんなことをしていけば良いかを具体的に検討します。
- ★ 良い案が思い浮かばないという方も、例えば…区長からこんなお願いをされた状況を想像しながら気楽（？）に考えてみてください。
  - ①「ご家族やお友達に「河原道」の魅力を伝えてください」
  - ②「外国人の旅行者に「河原道」の魅力を伝えてください」
  - ③「道沿いに住んでいる人に改めて「河原道」の魅力を伝えてください」
- ★ そのほか、今回検討しきれなかった「江戸川区の歴史の転換点」である荒川、新中川の掘削の歴史や「私は「これがやってみたい」という新しいプラン」などについても、資料やアイデアの持ち込みは大歓迎です。